

6月22日(金)・29日(金)・7月9日(月) 山口市立小鯖小学校で、山口大学の鈴木准教授による防災教育講座開催

小鯖小学校の5・6年生の児童58名が参加して、山口大学大学院理工学研究科の鈴木素之准教授と研究室学生3名による防災教育講座が、小鯖小学校体育館で開催されました。

【防災授業で勉強すること】

- ① 地震災害
- ② 地震が発生する仕組み
- ③ 火山噴火
- ④ 天気
- ⑤ 台風被害と発生する仕組み
- ⑥ 高潮災害
- ⑦ 洪水災害
- ⑧ 土砂災害
- ⑨ がけくずれ 浸水被害



いろいろな実験から学びました

○液状化実験

・地面の下は水で満たされている？



・地盤の液状化実験で確認しました！



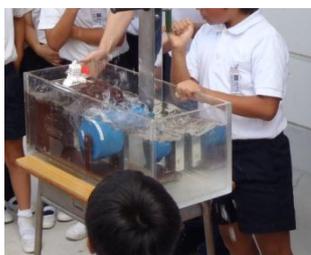
(液状化模型実験)

○津波発生のしくみの実験

・津波はどのようにして起こるのか？



・プレートの跳ね返りで地震・津波が起こることがわかりました！



(海溝型地震発生実験)

○台風模型実験

・台風の渦はどちらまわり？



・反時計回りに渦ができました！

・北半球の渦は、全て反時計回りになるんだって！



(台風模型実験)

土砂災害

○ 土砂災害危険箇所数は、広島県、島根県に続き山口県は全国3位です。

○ がけ崩れが起きるわけ

・雨が降ったり、地震が起きたりすると、滑りを起こそうとする力が大きくなり、がけ崩れが置きます。

○ がけ崩れが起きる前に・・・

- ① 小石がぱらぱらおちてくる
- ② がけに亀裂が入る
- ③ 水がわき出てくる

***こんな状況を見たら気をつけよう！**

○ 平成21年の防府の土石流災害の様子をスライドで見ました。



○ 自然災害から身を守る方法は？

- ① 自然災害を知る
- ② 避難場所・避難の仕方を知る
- ③ みんなで助け合う

○ 自然災害が起きたときにすることは？

- ① 避難勧告に従う
- ② 避難場所と避難の仕方を確かめる
- ③ 地震の時はあわてないで行動する
- ④ 津波の時は、できるだけ高いところに逃げる

質問があります！！

男子児童が授業の最後に質問しました。

Q: 震度階(震度0~7)の震度5と6には、なぜ「強」「弱」があるのですか？

A: 同じ震度でも、その違いで被害の状況が変わってくるため、細かく分けることでみんながよりいっそう注意するからです。

